

歴史(条約改正の動き)

19世紀後半、欧米諸国では、資本主義が発達し、経済力を強めていった。これらの国々は①_____と呼ばれ、その経済力と軍事力によって、アジアやアフリカを植民地にしていった(②_____主義)。

外務卿(大臣)の③_____は、鹿鳴館で舞踏会を開くなどの④_____をとり、不平等条約の改正をめざしたが失敗。その後、1886年にイギリス船の⑤_____事件が起き、条約改正の世論が高まった。そして、日清戦争直前の1894年、⑥_____が、領事裁判権を撤廃した⑦_____条約をイギリスと結ぶことに成功した。そして、日清戦争後、アメリカ、ロシア、フランスなども条約改正に応じていった。また、1911年、⑧_____がアメリカとの交渉をおこない、⑨_____権が完全に認められた。

